

佐渡の國 鬼太鼓座 ～ 鼓童 — 鼓童 30 年の歩み —

1971 昭和46年

Ｔシャツとジーパンが大流行。
成田空港用地を行政代執行。「三里塚闘争」激化。
仮面ライダー誕生。日本全国に「変身ブーム」が巻き起こった。
円ドル変動相場制移行。

- 4月 稽古開始（太鼓・琴・三味線など）
佐渡郡畑野町畑野の病院跡に居を置く
- 11月 六尺の大太鼓来る（サントリー佐治社長より寄贈）
第25回佐渡駅伝参加（大会史上初の女子参加）



第25回佐渡駅伝初参加。座員の田中あけみが、大会に女性として初出場。おんでこ座 A チームのアンカーとして、最長距離 9.9 km を白はちまき、バッチ、腹掛けの姿で力走し、沿道の観衆から大きな声援がおくられた（11月7日 / 国体一周5区間 42.1 km）

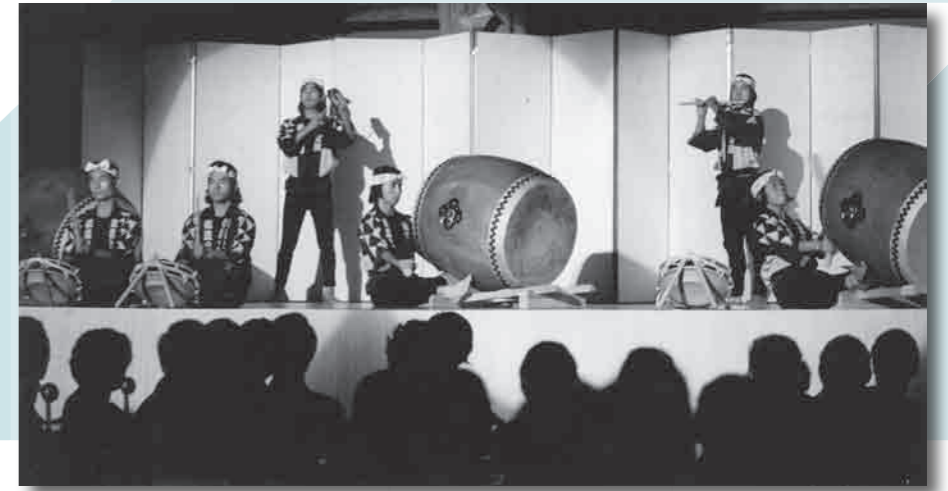


11月1日、サントリー社長・佐治敬三氏から6尺の大太鼓が寄贈された（写真は真野町大小の稽古）

1973 昭和48年

「日本沈没」（小松左京著）が大ベストセラーに。
青梅マラソンに女子の部10キロが新設された。
パリでベトナム和平協定が調印され、米軍が南ベトナムより撤退。
オイルショック。
アメリカ・カリフォルニア州サンノゼで「サンノゼ太鼓」創立。

- 2月 東京・青梅マラソンに初参加
- 9月 「六輔その世界」に出演（渋谷公会堂）
- 10月 世界インダストリアルデザイン会議にて太鼓披露（京都国際会議場）



第8回世界インダストリアル・デザイン会議にて太鼓披露。世界を目指す第一歩はここから始まった（10月13日 / 秩父屋台囃子 / 京都国際会議場メインホール）

1970 昭和45年

大阪で日本万国博覧会開催。「お祭り広場」で世界各国、国内各地の芸能などが連日披露された。
ミス・ユニバース・コンテスト世界大会、万博に合わせ大阪で開催。
「よど号」ハイジャック事件。
ビートルズ解散。

- 8月 23～30日「おんでこ座夏期学校」開催
- 11月 西武池袋店7階全フロアを使って手作りクラフトなどのバザールが開催され、おんでこ座も出店。各地の農業高校の生徒の作品や、佐渡産の竹・わら製品などを扱った



おんでこ座夏期学校。水六輔氏は、当時若者達に人気のあるラジオの深夜番組「バック・イン・ミニ・ナイト」の中で佐渡に来るよう呼びかけ、自身も講師として参加した（八月三十一～九月一日）



おんでこ座夏期学校。佐渡の代表的な芸能の一つである人形芝居を見学（八月二六日 / 真野中学校 礼法室）

1972 昭和47年

ミュンヘンオリンピック開催
浅間山荘事件。
沖縄返還。
田中角栄が「日本列島改造論」を発表。

- 1月 初めての元日マラソン
- 4月 「田耕を励ます会」が開かれる（大阪・大和屋）
- 6月 畑野町より真野町大小の旧・大小小学校に移る
- 11月 佐渡駅伝参加（16位、27位）

田耕を応援する会、能舞台のある大阪の料亭に関西財界を中心とした支援者を招き、一流の演者による演奏を披露。おんでこ座からは林英哲が参加した。2列目右端より馬場太郎氏、田耕氏、藤倉推峰（現・名生）氏、藤倉昌悦氏が並んでいる。この時に秩父屋台囃子の高野右吉氏との出会いもあった（4月28日 / 大阪・大和屋）



1974 昭和49年

ユリ・ゲラー来日、コックリさん流行、映画「エクソシスト」の大ヒットなどオカルトブーム。
ウォーターゲート事件。ニクソン大統領が辞任。
フィリピンのルバング島より小野田寛郎元少尉帰還。
ポストマラソンでゴーマン美智子が日本人女性として初優勝。

- 1月 篠田正浩監督、映画撮影開始「六輔・その世界」に出演（札幌・北海道厚生年金会館）
- 2月 青梅マラソン参加（日本で初めて女子30キロを走りきる）
- 5月 花柳照奈温泉會にて鈴木春美、「櫓のお七」を踊る（東横劇場）
- 6月 山田敬蔵、マラソンコーチとして来座
- 9月 佐渡小木で開かれた「日本海大学講座」にて太鼓披露

1月「六輔・その世界」に出演した際、落語家の入船亭扇橋さんに六尺ふんどの締め方を教えていただいた

その夏、会社ぐるみで支援いただいた京都信用金庫の皆さんが佐渡に来島された。折しも篠田正浩監督の映画撮影班も来島中。撮影がたがった締込姿で送り太鼓をたたいた



1975 昭和50年

- 1月 大阪・今宮戎にて太鼓披露（三尺八寸の大大鼓を初めて使う）
- 2月 岡山・西大寺禪院にて太鼓を打つ
- 4月 初渡航（アメリカ・フランス）
ボストンマラソン初参加
- 5月 エスパス・ピエール・カルダン公演（初めての入場料をとった公演）
- 6月 映画『佐渡國鬼太鼓座』（篠田正浩監督）招待試写会（東京・よみうりホール）
国内でお世話になった方々を招いて初めての劇場公演（東京・日生劇場）
- 7月 『佐渡國鬼太鼓座』一般公開試写会（東京・よみうりホール）
- 10月 佐渡駅伝に参加 Aチーム優勝

「紅茶キノコ」ブーム。
小室等、井上陽水、泉谷しげる、吉田拓郎がミュージシャン自身による日本初のレコード会社「フォーライフ・レコード」を設立。
ベトナム戦争終戦。
吉田拓郎とかぐや姫が静岡県掛川市「つま恋」で野外コンサートを開催し、5万人以上を動員。
ダウン・タウン・ブギウギ・バンドの『港のヨコ・ヨコハマ・ヨコスカ』が大ヒット。



小澤征爾氏、アイザック・スターン氏・楽団員を前に演奏を披露。座員のライリー・リーが座を代表して、小澤氏にTシャツを贈呈した（4月18日/ボストンシンフォニー・ホール）



そろいのプレザーを着て、初の海外渡航（4月10日/羽田空港にて）

1977 昭和52年

- 2月 京都マラソン参加（女子2人含む）
- 3月 N響と『モノプリズム』演奏。指揮：岩城宏之（尾高賞受賞記念）
レコード第1作『鬼太鼓座I』発売（ビクター）
映画第2作『鬼太鼓座に青春を賭けた若者たち』完成
- 4月 ボストンマラソン参加
- 5月 カナダで日系カナダ移民100年祭参加
- 7月 加藤登紀子コンサートに出演（日比谷野外音楽堂）
- 8月 照明家・原田進平と出会う（東京厚生年金会館）
- 11月 機関紙『鬼太鼓座』創刊
後援会発足（発起人：水野清、山野實、中原一三）

エルビス・プレスリー死去。
アメリカの「アップル」が法人化。パーソナルコンピュータ「Apple II」発売。
大阪府吹田市に「国立民族学博物館（みんぱく）」開館。
「ピンク・レディー」ブーム。
国立劇場による民俗芸能公演「日本の太鼓」シリーズ始まる。



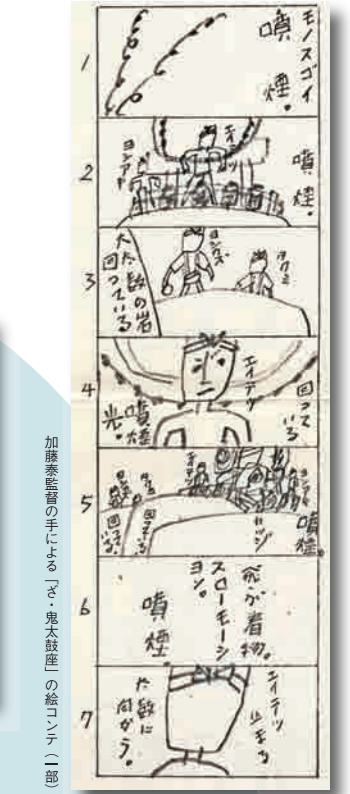
八月、東京厚生年金会館で照明家・原田進平氏と出会う（写真は九一年の時のもの）

1979 昭和54年

- 2月 別府大分毎日（別大）マラソン参加（大分県）
（小幡キヨ子女性が女性初参加。2時間48分52秒）
映画『ざ・鬼太鼓座』（加藤泰監督）クランクイン
- 4月 ボストンマラソン参加
- 6月 「広島平和音楽祭」出演
- 7月 「モンローインターナショナルフェスティバル」出演（スイス）
- 8月 東京厚生年金会館（ダウン・タウン・ブギウギ・バンドと共演）
- 9月 国立劇場「日本の太鼓」出演



寛仁殿下を中心に福祉活動のため組織された柏朋会主催の「愛のコンサート」に出演し、「モノプリズム」「屋台囃子」などを演奏した。終演後、美智子妃殿下に挨拶する座員達（6月9日/東京郵便貯金ホール/出演：友竹正則、真理ヨシ子、東京交響楽団、鬼太鼓座、指揮：林紀人、石井眞木、司会：黒柳徹子）



加藤泰監督の手による「ざ・鬼太鼓座」の絵コンテ（一部）

1976 昭和51年

- 2月 日独現代音楽祭で『モノクローム』初演（東京文化会館）
- 4月 ボストンマラソン参加
- 5月 ビクターレコードと契約
- 7月 米国建国200年祭参加
「タングルウッド音楽祭」でボストンシンフォニーと『モノプリズム』を演奏。指揮：小澤征爾
- 11月 ボストンマラソン優勝のビル・ロジャースを招き、佐渡駅伝を共に走る（ビル・ロジャースは全区間走破）
- 12月 新日本フィル定期演奏会に出演。『モノプリズム』日本初演。指揮：小澤征爾



ボストンマラソン優勝者のビル・ロジャースを招き、佐渡駅伝を共に走る。ビル・ロジャースは全区間を一人で走破した（11月5日）



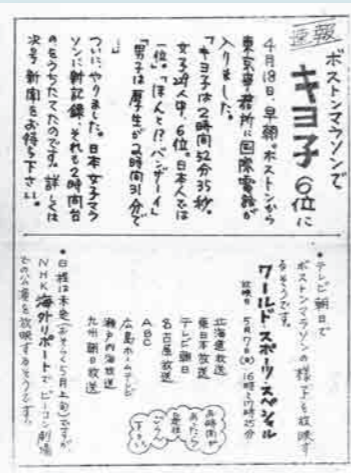
タングルウッド音楽祭で、ボストンシンフォニーと『モノプリズム』を演奏（7月25日/指揮：小澤征爾）

ロッキード事件。田中角栄前首相が逮捕される。
ボストンマラソンと青梅マラソンが姉妹提携を結ぶ。
市民ランナーのための情報誌『ランナーズ』創刊。
女子プロレスブーム。
『おふけ!たいやきくん』大ヒット。
『徹子の部屋』放送開始。
モントリオールオリンピック開催。ルーマニアの体操選手ナディア・コマネチが大人気となる。

1978 昭和53年

- 3月 N響と『モノプリズム』演奏。指揮：岩城宏之
- 4月 ボストンマラソン参加（小幡キヨ子、女子6位入賞）
- 5月 日本テレビ制作のドキュメンタリー映画『走る・叩く・踊る 鬼太鼓座15人の若者』を島内13ヶ所で上映
- 6月 レコード『鬼太鼓座II』発売（ビクター）
- 7月 民音公演始まる。約90回公演
- 11月 大阪フィル定期演奏会で『モノプリズム』演奏。指揮：朝比奈隆

映画『スター・ウォーズ』『未知との遭遇』公開。
カラオケブーム到来。
キャンディーズ解散。
成田空港開港。
YMO（イエロー・マジック・オーケストラ）デビュー。



小幡キヨ子、ボストンマラソンで6位入賞の速報



座員の皆で宮本常一先生を訪ね、お話を伺った（12月22日/武蔵野美術大学民俗資料研究室）

1980 昭和55年

- 1月 京都南座「除夜の鐘コンサート」（午前3時より）
- 2月 別府大分毎日マラソン参加
レコード『鬼太鼓座III』発売（ビクター）
- 4月 アメリカツアー
- 7月 加藤登紀子コンサートに出演
- 8月 佐渡相川・入崎海岸でダウン・タウン・ファイティング・ブギウギ・バンドとジョイントコンサート
- 12月 宮本常一の郷里の周防大島で開催された「東和町郷土大学」に参加
ダウン・タウン・ファイティング・ブギウギ・バンドとのライブ盤「激昂」発売（ビクター）

「漫才」ブーム。
「ボカリスエット」登場。
日本の自動車生産台数が世界一に。
モスクワオリンピック開催。日本は不参加。
山口百恵引退。
松田聖子が歌手デビュー。
ジョン・レノンが射殺される。



佐渡、相川・入崎海岸でダウン・タウン・ファイティング・ブギウギ・バンドとジョイントコンサートを行った（8月12日/来伊च्छ入崎夏祭り1万人コンサート）



第29回別府大分毎日（別大）マラソンに参加。女子は4人参加し、唯一完走した小幡キヨ子の記録「2時間51分32秒」が、日本初的女子マラソンの公認記録となった（2月3日/大分県）

1981 昭和56年

鼓童誕生



契約を履行するため、鼓童と鬼太鼓座の名前を並行して使っていた時期。「鬼太鼓座十周年記念公演」は、林英哲が演出を手がけた。津軽手踊りとステールドラムなどによる音楽を合わせて構成した「双蓮華」や、「獅子躍」が新演目として加わった(4月24日～7月19日)(石原勲)



金井町・太慶寺の境内で演奏。「鼓童ごあいさつ公演 in 佐渡」と銘打って、5日間で全市町村10ヶ所での公演を行った(10月9日～13日)(富田和明)

イギリスのチャールズ皇太子とダイアナ嬢が結婚。
寺尾聰の「ルビーの指環」が大ヒット。
宮本常一死去。
ヨハネ・パウロ2世来日。
(佐渡) 野生のトキを全鳥捕獲。

◆イタリア、サンマリノ、旧西ドイツ、日本公演

- 2月 「(株)北前船(きたまえせん)」設立
- 3月 佐渡両津公演(10周年記念公演スタート)
- 5月 季刊『鼓童』創刊
レコード『fohn(フエーン) Down Town Fighting Boogie Woogie Band VS ONDEKOZA』発売(ビクター)
- 7月 「相川鉦山祭」初参加
- 8月 第1回「鼓童・夏の学校」開催
- 9月 「鼓童」結成、ベルリン芸術祭でデビュー
石井眞木作曲「入破」、ケルン現代音楽祭で初演
鼓童第一回国内記念公演(池袋・サンシャイン劇場)
- 12月 自主制作レコード『鼓童I』録音(埼玉・入間市民会館)



店先に公演の看板を立てて宣伝。鬼太鼓座時代からの支援者が実行委員会を結成し、広島公演を主催してくださった(10月)(富田和明)



佐渡の景色の中で鼓童らしい宣伝用写真を作ろうと島内各地を巡る。新演目「獅子舞」を能舞台の前で(羽茂町・氣比神社)(石原勲)

1982 昭和57年

◆アメリカ、カナダ、メキシコ、日本(56公演)

- 1～8月まで演奏活動を休止させ、仕込み期間として三宅島、八丈島、津軽、柏崎等へ出稽古
- 4月 佐和田祭りで『三宅』初演
- 4～7月 大小で「太鼓教室」を週1回開催。講師：藤本吉利
- 8月 第2回「鼓童・夏の学校」開催
- 11月 「永六輔+鼓童」(浅草公会堂)、「鼓童」、「東京交響楽団+鼓童」(新宿文化センター)公演。新実徳英作曲「ウェイピング」初演
- 12月 1983年公開の映画『幻魔大戦』の音楽に参加

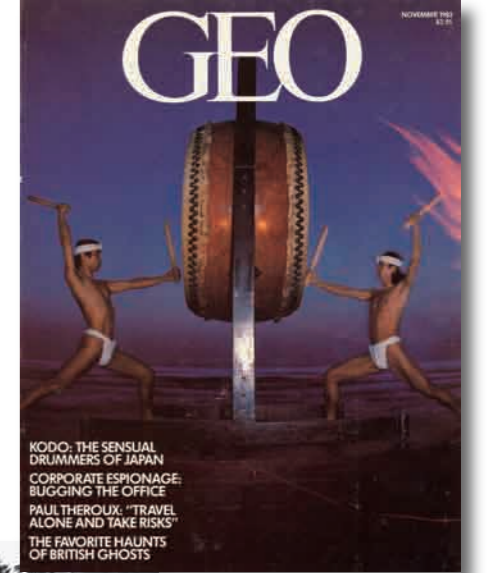
東北新幹線、上越新幹線開業。
映画「E.T.」が大ヒット。
ホテル・ニュージャパン火災。
フォークランド紛争。
ソニーがCDプレーヤー発売。
日航機羽田沖墜落事件。
「笑っていいとも!」放送開始。



プログラムも会場も異なる3日間の連続公演を行った。初日は永六輔氏との投げ銭公演。2日目からは新宿文化センターで、鼓童単独公演。3日目はオーケストラとの共演。無我夢中の3日間だった(11月15日/浅草公会堂/出演:永六輔、石川島、鼓童)(石原勲)



「モノリズム」[入破]に加えて、新実徳英作曲「ウェイピング」を初演。「惨憺たるリハーサル後の宿務のような本番」だった(11月17日/新宿文化センター/出演:東京交響楽団、鼓童、指揮:小林研一郎)(石原勲)



発行部数は100万部を超えるという、アメリカの雑誌「GEO」の表紙にとりあげられ、12ページにわたる特集記事が掲載された(「GEO」Vol.5)

マイケル・ジャクソン「スリラー」大ヒット。
東京ディズニーランドオープン。
任天堂が「ファミリーコンピュータ」発売。「スーパーマリオブラザーズ」など様々なヒットソフトを誕生させた。
第5回東京国際女子マラソンで佐々木七恵が日本人選手初の優勝。
日本演劇界初の無期限ロングランを打ち出し、劇団四季がミュージカル「キャッツ」を上演開始。



「GEO」の取材スタッフと終日佐渡島内を巡って撮影。カメラマンのMichael Melford氏(左)とライターのTam Stewart氏(右)。Tam氏は2006年より鼓童の海外宣伝スタッフとして、KODO eNewsの編集などに携わっている(5月4日)(富田和明)

1983 昭和58年

◆日本公演(84公演)

- 2月 鼓童第1回マラソン大会
- 3月 アムネスティ・チャリティコンサート出演
- 7月 『鼓童II』発売(カセットテープ)
大小稽古場にて「鼓童・時間旅行(タイム・トラベル)」「番外コンサート」開催
- 8月 第3回「鼓童・夏の学校」開催
- 8～9月 カナダ・ネメシスプロダクション制作のドキュメンタリー『KODO - HEARTBEAT DRUMMERS OF JAPAN』を佐渡と東京で約1ヶ月かけて撮影
- 9月 鼓童「むら」構想—建設第一次案—策定
国立劇場「日本の太鼓」出演(出演:黒川さんさ、林英哲他)
- 10月 写真集『鼓童』撮影(星野小麿)
- 11月 佐渡駅伝に7年ぶりに参加



第三回「鼓童・夏の学校」開催。海辺に流れ着いた物を拾って、そこから自分達の生活を考え直すコース「PUPING(パッピング)/PUP=Pick Up Picnicの略」では、山のように集まった空き缶に塔婆を立てて供養した(8月12日～15日/真野公園)



初めての「ワン・アース・ツアー」五ヶ国目はフランス。二月十七日深夜パリ着。地下鉄の駅でホスターを発見する。ストライクの影響でイタリアからの列車が途中で止まってしまう。パリ公演の初日は残念ながら一日遅れの幕開となった(富田和明)



「利賀フェスティバル」。野外劇場にてオープリハーサル準備。富山県の山奥で、演劇集団SCOTを中心に運営されている世界演劇祭に参加した経験は、その後のアース・セレブレーションへの大きな刺激となった(8月9日/富山県利賀村)(山野賢)

ロサンゼルスオリンピック開催。映画「風の谷のナウカ」公開。エリマキトカゲ、珍獣ブーム。ロス疑惑。「サイトウ・キネン・オーケストラ」誕生。グリコ・森永事件。システム手帳が大流行。

1984 昭和59年

◆台湾、香港、中国、イタリア、フランス、スイス、イギリス、スウェーデン、デンマーク、旧西ドイツ、オランダ、アメリカ、日本(120公演)

- 1~7月 初の「ONE EARTH TOUR (ワン・アース・ツアー)」
- 1月 季刊『鼓童』が月刊化
藤倉呂悦作曲『千里馬』初演
- 5月 ドイツオペラ劇場にて石井眞木作曲『輝夜姫』初演
- 8月 利賀フェスティバル参加
- 10月 新宿シアターアプルで初の8回連続公演
- 11月 「山下洋輔&鼓童」公演(岐阜市文化センター)
- 12月 「山本寛斎ファッションショー『寛斎元氣主義』」出演



音楽で呼応する醍醐味を教えてくれた、山下洋輔氏との初共演(11月21日/岐阜市文化センター)(写真提供:岐阜日日新聞)



四月十一日、最初の研修生が集合。岡田孝子氏が早々に来島され、戸外で研修生は新人メンバーとともに歌の指導を受けた(四月十八日~二十日/真野町大小)(富田和明)

1985 昭和60年

◆アメリカ、カナダ、イギリス、オランダ、イタリア、スイス、フランス、日本(139公演)

- 4月 研修生制度開始
- 7月 「東京の夏」音楽祭「打楽器の響宴'85」にて『輝夜姫』日本初演。田中賢作曲『始源太鼓』初演
- 8月 「エジソン国際芸術祭」参加
「SADO MUSIC FESTIVAL」開催(佐和田球場)(出演:劇男一世風摩、加川良 with 村上律、憂歌団、今田勝 NOWIN、山下洋輔とパンジャアンサンプル、鼓童)
- 10月 「チューリップ・ジャズフェスティバル」にて山下洋輔と共演
- 11月 スターダンサーズ/バレエ団と『輝夜姫』で共演
- 12月 新宿シアターアプルにて12回連続公演(十二月公演の初年(以後1999年まで))
「山下洋輔×鼓童~'85簡易保険ホール・ニュー・イヤーズ・イブ・コンサート」出演
NHK特集『太鼓と地球に響け!~佐渡國鼓童の二十人』放映

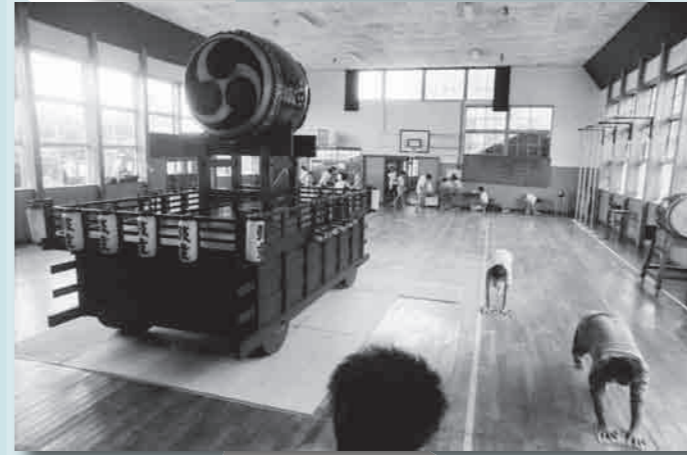


「SADO MUSIC FESTIVAL~なぜ突然日本海」開催。地元の若者達と取り組み、佐渡のこの種のイベントとしては当時最高の3,000人を記録した(8月4日/佐和田球場特設ステージ/出演:劇男一世風摩、加川良 with 村上律、憂歌団、今田勝 NOWIN、山下洋輔とパンジャアンサンプル、鼓童)

20世紀最大のチャリティコンサート「ライヴ・エイド」開催。「ウィ・アー・ザ・ワールド」リリース。毛利衛、向井千秋、土井隆雄の3人が初の日本人宇宙飛行士に決定。ソニーが小型家庭用8ミリビデオ発売。携帯電話の元祖「ショルダーホン」登場。日航ジャンボ機墜落事故。世界航空史上2番目の大惨事となる。阪神タイガースが初の日本一に。



イギリス・ロンドン。14回の連続公演は、大成功のうちに千秋祭を迎えた。チケットが買えなかった人達のために野外公演を急遽企画。公演前々日からチケットを発売したにも関わらず、5,000人近くの観客が集まった(9月28日/ジュブリー・ガーデン)(河内敏夫)



この年より開設した研修所で、「第2回太鼓教室」を3泊4日の合宿形式で行った。参加者全員で朝のぞうきんがけ(8月15日~18日/相川町北田野浦・鼓童研修所)(富田和明)

DCブランド人気。地価高騰。ディスコフィーバー。スペースシャトル「チャレンジャー」が空中爆発事故。ソ連でチェルノブイリ原発事故発生。男女雇用機会均等法施行。

1986 昭和61年

◆台湾、香港、トルコ、インドネシア、マレーシア、日本(89公演)

- 「アース・セレブレーション'87」の実施計画を発表
- 4月 相川町北田野浦に研修所を開設
中国東方歌舞団と共演(佐渡)
- 5~6月 トルコ日本週間、バリ国際芸術祭参加
- 11月 サントリーホールこけら落としにて、石井眞木作曲「モノプリズム」新日本フィルハーモニー交響楽団と共演。指揮:小澤征爾
小木町金田新田に「鼓童村」予定地約3万坪を購入



サントリーホール・オープニング・シリーズ「モノプリズム」を演奏(10月31日、11月1日/出演:新日本フィルハーモニー交響楽団、鼓童、指揮:小澤征爾)(リハーサルの様子/中村脩)



北米ツアーから戻り、大小で河内敏夫の「鼓童葬」を行った。参加者は焼香の代わりに太鼓や鳴り物を鳴らし、ハンチョウ(河内の愛称)を見送った(5月3日)(太田順一)

マドンナやマイケル・ジャクソンなどスーパースターの来日が相次ぐ。俵万智の歌集「サラダ記念日」がベストセラーに。200万部以上を売り「サラダ現象」と呼ばれる。国鉄民営化。大韓航空機墜落事件。

1987 昭和62年

◆アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、旧東・西ドイツ、日本(136公演)

- 1月 代表・河内敏夫死去。大井良明が代表責任者となる
- 3月 ロンドン・サドラーズウェルズ劇場で14回公演
- 4月 石井眞木誕生50年祝賀コンサート出演(ベルリン・フィルハーモニー)
ベルリン市制750周年祭参加
- 5月 佐渡・大小にて河内敏夫「鼓童葬」
鼓童村建設地にて地鎮式
- 7~8月 「アース・セレブレーション」を延期し、河内敏夫追悼「鼓童スペシャル」開催(東京、大阪、佐渡)
- 8月 「小木港まつり」初参加



「鼓童スペシャル~追悼・河内敏夫」開催(8月2日/佐渡・城山公園)(山野賢)



初めて「小木港まつり」に参加。舞台で使っている屋台をそのまま使い、大太鼓を打ち鳴らしながら、小木の町なかを巡行して回った(8月28日)(太田順一)



第一回アース・セレブレーション開催に向けた準備期間、鼓童のメンバーと新井英一氏(歌キタ)の演奏に囲まれて、黒田征太郎氏が絵を描く。出来上がった絵はEC案内所の壁面に飾られた(八月六日)(藤本容子)



アース・セレブレーション開催。ゲストのボウ・ガメラン・アンサンブルの3人は佐渡に長期滞在し、ドラム缶やタイヤのホイールなど、様々なゴミやガラクタを集めて楽器を制作した(8月16日/小木港で演奏)(迫水正一)

大韓航空機爆破事件実行犯・金賢姫の自供から、北朝鮮による日本人拉致疑惑発覚。
リクルート事件。
ソウルオリンピック開催。
1億円の地方交付税を交付する「ふるさと創生事業」をきっかけに組太鼓のグループが全国各地に生まれた。「太鼓と人間の研究誌」として和太鼓の専門誌「たいころしい」創刊。(企画監修:浅野太鼓資料館)

1988 昭和63年

◆アメリカ、トリニダード・トバゴ、ベネズエラ、ブラジル、コロンビア、オーストラリア、日本 (130公演)

- 3月 アメリカツアー (ニューヨーク・シティセンターで6日間公演他)
- 6月 「オランダフェスティバル」にて「輝夜姫」上演
鼓童村本部棟完成。事務所、真野町より移転
国際交流基金主催による南米ツアーを実施。ブラジル日系移民80周年祭参加
- 8月 ソニーレコードよりCD「UBU-SUNA (産土)」発売
鼓童村開村
第1回「アース・セレブレーション (EC)」開催(出演:新井英一、中国鼓楽芸術団、エルビン・ジョーンズ、山下洋輔、セル・マクビー、川崎燎、ドラマーズ・オブ・ブルンジ、ボウ・ガメラン・アンサンブル他)
- 11月 「サウンド・クラウド・イン・シドニー」出演 (共演:富田勲、坂東玉三郎他)
オーストラリア建国200周年祭参加



オーストラリア建国200周年記念イベント「サウンド・クラウド・イン・シドニー」に出演。富田勲氏がシンセサイザーを駆使して全体を導いていく。鼓童は海の中に浮かぶ特設舞台上で演奏しながら海上を移動。すると上空に光を放つ円盤が現れ、そのキラメキの下に別の舞台上では坂東玉三郎氏の天女が生まれ出た(十一月五日/シドニー湾)



「アジア・太平洋博覧会」でサムルノリと初めての出会い。鼓童の半纏を着て演奏するサムルノリのメンバー (5月31日)(菅野敦司)

1989 昭和64年 平成元年

◆アメリカ、カナダ、旧西ドイツ、スイス、ベルギー、フランス、日本 (135公演)

- 5月 「アジア・太平洋博覧会」でサムルノリと共演 (福岡)
- 7月 「サウンド・クラウド・イン横浜」出演 (出演:富田勲、日野皓正)
- 8月 「EC'89」開催 (出演:サムルノリ、ハムザ・エル＝ディン、近藤等則他)
- 10月 「(有)音大工」設立
「鼓童塾」開始
- 11月 CD「BLESSING OF THE EARTH」発売
- 12月 「鼓童十二月公演」と正式に銘打って開催 (佐渡、大阪、名古屋、横浜、東京)

「イカ天」。素人バンドブーム。昭和天皇崩御。元号を「平成」と改める。中国で民主化デモを武力で鎮圧する天安門事件が起きる。「東西冷戦の象徴」ドイツのベルリンの壁が崩壊。平均株価が3万円を突破し市場最高値を記録。バブル経済のピーク。(佐渡) 第1回トリアスロン大会が佐渡全島を会場に行われる。



アース・セレブレーション'89。ナイジェリアからのゲスト ツインズ・セブン・セブンが突然来日不可能となった。協力を申し出てくれたサムルノリと黒田征太郎氏が特別出演。サムルノリは和紙で作った衣装を身にまとい、巫女の踊りを日本初公開してくれた(8月26日)(太田順一)



第一回鼓童塾を相川町・北田野浦の鼓童研修所で開催。講師は近藤克次、アシスタント・齊藤栄一。研修生とともに参加者の皆さんに演奏を披露(十月一日/三〇日)(佐藤津久美)



大物演歌歌手による座長公演が月替わりで行われていた「演歌の殿堂」新宿コマ劇場。「ソク」鼓童&サムルノリは、その合間を縫って一日だけ行われた。ちなみに、終演後の劇場は、あつという間に「吉幾三」仕様へと変わっていた(7月23日/新宿コマ劇場/出演:サムルノリ、黒田征太郎、鼓童)(藤本容子)



アルバム「彩」のレコーディング。引き続き CBS ソニーのスタジオをお借りして、日野皓正さんと8月の EC に向けてのリハーサルを行った。さらにはサムルノリと「ソク」公演のリハーサルも。「てんこもり」の6日間だった(7月17~22日)(藤本容子)

1990 平成2年

◆アメリカ、フランス、イギリス、日本 (134公演)

- 1~3月 アメリカツアー (ニューヨークシティセンター他)
- 3月 鼓童村二期工事着工
- 4~5月 ヨーロッパツアー (ロンドン・サドラズウェルズ劇場13日間公演他)
- 7月 「ソク」鼓童&サムルノリ 出演 (出演:サムルノリ、黒田征太郎/新宿コマ劇場)
- 8月 「EC'90」開催 (出演:ラブ・ジョイ&ピース・アンサンブル、ブンガ・チョーラム、シーラム・パティヤ・カラケンドラ舞踊団、日野皓正他)
- 10月 CD「IRODORI (彩)」発売 (日本ゴールドディスク大賞アルバム部門受賞)

「大学入試センター試験」第1回開催。長崎県の雲仙普賢岳が200年ぶりに噴火。秋山豊寛が日本人初の宇宙飛行。



1月10日、和泉邸にて、鼓童村二期工事 (和泉邸、住居棟、本部棟食堂) 竣工式を開催 (設計:TEM 研究所/建築:和泉邸/佐藤正、住居棟、本部棟:藤田文雄)

湾岸戦争勃発。
南アフリカ・アパルトヘイト (人種隔離政策) 撤廃を宣言。
コルバチョフ大統領辞任。ソ連が消滅。
雪道の粉塵公害が社会問題化し、スパイクタイヤが販売禁止に。スタッドレスタイヤが普及。
(佐渡) 小木町有志で「鼓鈴の会」結成。小木港まつりに参加。

1991 平成3年

◆アメリカ、カナダ、日本 (138公演)

- 1月 和泉邸・住居棟・本部棟食堂竣工式
- 7月 結成10周年を機に「Gathering (ギャザリング)」開催 (出演:新日本フィルハーモニー交響楽団 (指揮:石井眞木)、日野皓正、山下洋輔、レシー・ライト/渋谷・Bunkamura オーチャードホール)
- 8月 「EC'91」開催 (出演:スアール・アグン、ミルトン・カルドーナ&エヤ・アランラ、アジャ・アデイ)
- 9月 鼓童「三人狂」(レナード衛藤、金子竜太郎、栗田完) アフリカツアー (ガーナ、ナイジェリア、セネガル)
台風により研修所が被害を受け、秋の鼓童塾を中止
- 10月 CD「Gathering」【Mono-Prism】発売



鼓童結成10周年を記念して「Gathering (ギャザリング)」公演を開催。(7月22~24日/東京・渋谷 Bunkamura オーチャードホール) 写真は第3夜「天と地...その出会い」(出演:山下洋輔、日野皓正、レシー・ライト、鼓童)(迫水正一)



鼓童「三人狂」アフリカツアー(九月八日/三〇日/ガーナ、ナイジェリア、セネガル)参加メンバー:レナード衛藤、金子竜太郎、栗田完(板垣真理子)



3月21日、稽古場棟竣工式。「太鼓」と「三宅」を演奏
(設計：TEM 研究所 / 建築棟梁：佐藤正) (内藤隆)

ボスニア・ヘルツェゴビナが旧ユーゴ連邦から独立。内線に突入。田部井淳子が女性初の7大陸最高峰登頂者となる。バルセロナオリンピック開催。岩崎恭子が競泳200m平泳ぎで史上最年少(14歳)で優勝。毛利衛がスペースシャトル「エンデバー」で宇宙へ。(佐渡) 深浦学区の子ども達を中心に「峠太鼓の会」設立。

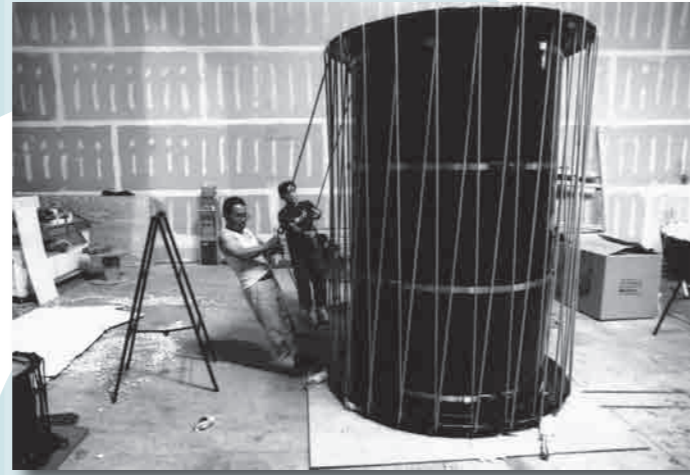
1992 平成4年

◆アメリカ、カナダ、ドイツ、イタリア、スイス、ベルギー、オランダ、日本 (117公演)

- 3月 正式名称を「佐渡國鼓童」から「鼓童」とする 稽古場棟竣工
- 4月 鼓童代表が舞台局(山口幹文)、事務局(青木孝夫)、鼓童村(大井良明)の3代表制に 「クローズ・アップ・オブ・ジャパン」で山下洋輔と共演(ベルリンフィルハーモニーホール)
- 6月 大小を第一研修所、北田野浦を第二研修所とする
- 7月 「ギャザリング“胎内回帰”」開催(東京)
- 8月 「EC'92」開催(出演:ドッド・ニジャエ・ローズ・パークッション・オーケストラ、アジャ&アジェリー、梅津和時、岩下徹他)
- 9月 女性ユニット「花結」初公演(佐渡、栃木)
- 10月 CD「KAIKI(回帰)」発売
- 12月 半纏の襟の文字を「佐渡の國」から「鼓童」にビデオ「KODO 鼓童」発売



6月19日、鼓童の半纏のデザインをしてくださった秋岡芳夫先生来村(写真中央)



シルク・ド・ソレイユがラスベガスで現在の大成功を収めるきっかけになった演目「Mystère」(ミステール)では和太鼓が用いられ、その指導には当時鼓童のメンバーだった近藤次氏があたった。4月1~17日、本拠地であるモントリオールへ、浅野太鼓・浅野昭利専務が同行し、太鼓を納品。3日間かけて組み上げた(マーク・クーツスマス)

1993 平成5年

◆アメリカ、カナダ、ポルトガル、イギリス、台湾、日本 (129公演)

- 4月 「クローズ・アップ・オブ・ジャパン」出演(ポルトガル・聖ジェロニモ修道院)
- 5月 照明家・原田進平逝去 「ネスカフェ・ゴールドブレンドコンサート『鼓』」(出演:関西フィルハーモニー交響楽団(指揮:石井眞木)、吉原すみれ)で「モノプリズム」を演奏
- 7月 「ギャザリング'93」開催(東京、名古屋)
- 8月 「EC'93」開催(出演:レネゲイズ・スティールドラム・オーケストラ、カンザン、岩下徹、富田勲他)
- 9月 CD「Best of KODO」発売
- 10月 「ネスカフェ・ゴールドブレンドコンサート『鼓』」(出演:新日本フィルハーモニー交響楽団(指揮:石井眞木)、吉原すみれ)で「モノプリズム」を演奏

アラファト PLO 議長と、イスラエルのラビン首相がバレスチナ暫定自治の原則宣言に調印。欧州連合(EU)発足。日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)誕生。冷夏による不作で、タイなどから米を緊急輸入。ワールドカップ予選最終戦で日本が敗退決定(ドーハの悲劇)。



新宿コマ劇場の外側に掲げられた「鼓童十二月公演」の看板。隣の映画館で上映中のゴジラと、知弘が対決するかのよう絵となった(マーク・クーツスマス)



「ゆらぎ」の研究で知られる武者利光氏によれば、「人間の活力とゆらぎは非常に関係がある」という。鼓童のメンバーと一緒に太鼓を打っている時に、身体の中で何が起きているのかを探るため、心拍数と脳波の測定を行った(6月16日/東京・町田市民ホール)(狩野泰一)



EC'94 プレイベント「テント劇場」開催。空き地に高さ6メートル、直径18メートルのテントを設営し、12ものプログラムがほぼ日替わりで繰り広げられた(7月28日~8月18日/小木町あゆす会館横/出演:マリウス&ブリュノ(サーカス)、むごん劇かんぱに、永六輔、古今亭志ん輔、坂田明、渡辺香津美、アンサンブル・グルフィーオ他)(吉田勲)

アラファト PLO 議長とラビン首相、ベレス外相がノーベル平和賞を受賞。英仏間の「ユーロトンネル」開通(全長50キロ)。松本サリン事件。関西国際空港開港。スコットランドの太鼓グループ「無限響」創立。

1994 平成6年

◆アメリカ、日本 (111公演)

- 2月 ビデオ「KODO 鼓童」がカンヌ第28回国際音楽産業見本市映像音楽コンテスト「MIDEM賞」音楽ビデオ長編部門にて最優秀賞受賞
- 3月 ハリウッド映画「ハンテッド」の音楽を全編担当
- 8月 「EC'94」開催。プレイベントとして「テント劇場」を開催(7/28~8/18)(出演:ソウル歌舞楽芸術団、コスタ・カリベ、他多数)
- 9月 「音舞台」出演(共演:富田勲、クシヤクタ)(京都・泉涌寺)
- 12月 CD「鼓童 with 富田勲/ナスカ幻想」発売



平安遷都1200年を記念して京都で行われた野外イベント「泉涌寺(せんにゅうじ)・音舞台」で、富田勲氏、ヘルレーのフォルクローレグループ・クシヤクタと共演(9月10日)(マーク・クーツスマス)



ECのプレイベントとして、初めて「太鼓体験塾」が行われた。佐渡島内在住者を対象に10市町村で全16回、279名の参加を得た(4月~6月/講師:大井良明、藤本吉利、齊藤栄一)(マーク・クーツスマス)

アメリカとベトナムの国交正常化。ボスニア紛争の包括和平協定。フランスが南太平洋で核実験を強行。イスラエルのラビン首相暗殺。阪神・淡路大震災。地下鉄サリン事件。

1995 平成7年

◆アメリカ、カナダ、ベルギー、フランス、スイス、イタリア、ギリシャ、日本 (123公演)

- 1~2月 北米ツアー(カーネギーホール、ボストンシンフォニーホール他)
- 2月 ECが国際交流基金地域交流振興賞受賞
- 4月 「太鼓体験塾」を島内10市町村で開催(以後2010年まで毎年開催)
- 4~6月 ヨーロッパツアー(ギリシャ・ヘロデオン野外音楽堂他)
- 7月 「ギャザリング」開催(仙台、大阪、東京)
- 8月 「EC'95」開催(出演:アンジェリチ、パワトワン・オラトウジ他)
- 9月 CD「アクロポリス・ライブ」発売
- 10月 ビデオ、LD「アクロポリス・ライブ」発売。映画「ハンテッド」サウンド盤発売
- 12月 第37回日本レコード大賞・特別賞受賞



六月七・八日、ギリシャ・アテネ、パルテノン神殿のふもとにヘロデオン野外音楽堂は西暦一八〇一年建造。一八〇年以上もの歴史のある劇場での公演は「アテネ・フェスティバル」のオーブニングとして行われ、連日満員の観客を迎えることができた(ジャッキー・ボロネ)



佐渡と同じ離島である吉岐での公演は、山口県防府市公演の際にいただいた1通のアンケートから実現した。フェリーで到着する我々を出迎えてくださった鼓童公演実行委員会の皆さん(狩野泰一)



ECプレイベント期間に、初めての試みとして6つの合宿・連続ワークショップを企画。最終日には「城山大集合」と題して、参加者が城山に集い、各ワークショップの成果を共有する時間をもった(写真は「サンバで遊ぼう」の発表・講師：渡辺亮さん)(吉田勲)



4月26日、「鼓童文化財団設立と研修所2年制始動を祝う会」を、柿野浦の鼓童文化財団研修所で開催(坂口正光)



5月、メッセージタイトル完成。鼓童村構想を発表した1980年半年より寄付を募り、村内にメッセージタイトルとして埋め込むプランだったが、建設計画の変更に伴い、移動が可能な屏風型パネルとした

香港がイギリスから中国へ返還される。ダイアナ元英皇太子妃が交通事故で死亡(36歳)。茨城県東海村の「動燃」施設内で火災、放射能漏れ事故が発生。消費税5%スタート。第1回「フジロックフェスティバル」開催。オーストラリアの太鼓グループ「TalkOz」創立。



長野冬期オリンピック開催。サッカーワールドカップ・フランス大会に日本が初出場。米英がバグダッドを空爆。(佐渡) 小木町健康保養センター「おぎの湯」開業。(佐渡) 千石船「白山丸」を復元展示。

4月25日、鼓童文化財団研修所のグラウンドで「鼓童流音楽運動会」を開催。メンバーと家族、研修生合わせて85名が参加。事前に舞台メンバーが作曲した各種目のテーマ曲を稽古場で録音。「運動会 BGM集」を完成させ、当日はその音楽の流れる中、競技を楽しんだ(西田太郎)



初めて春に開催したEC。ゲストのレッド・ウィロー・ダンサーズの皆さんは少し早めから鼓童村に滞在。ネイティブ・アメリカン独特の料理を教えていただいたり、鼓童村で交流会を行った。鼓童からも数家族が彼らの本拠「タオス」を訪ねるなど、時間をかけて深いつながりが生まれた(ダニエル・ローゼン)



新たなチャレンジとして取り組んだ、子どものためのコンサート「しんすけ・鼓童のキッズバラエティ」(5月5日/アミューズメント佐渡/出演：古今亭志ん輔、林家二楽、鼓童小編成)(吉田勲)

1996 平成8年

◆ベルギー、オランダ、フランス、ドイツ、イギリス、イスラエル、日本(130公演)

- 2～3月 ヨーロッパツアー(ベルギー・ブルージュ・フェスティバル、ロンドン・サドラズウェルズ劇場他)
- 4月 両津市柿野浦に、鼓童文化財団研修所開所「さど・ぶれぜんつ 永六輔の鼓童で遊ぼう」開催(共演：伊藤多喜雄他)日枝神社の遷座400年記念臨時大祭前夜祭に出演
- 8月 「EC'96」開催(ドナル・ラニー、モイア・ブレナン、リム・オ・メンリィ、シャロン・シャノン、ナリグ・ケイシー他)6つの合宿・連続ワークショップを開催
- 9月 写真家・橋口謙二のプロデュースにより特別編成でキューバ、ドミニカ共和国公演(藤本吉利、藤本容子、金子竜太郎、狩野泰一、焔太鼓、今福優)
- 12月 CD『いぶき』発売(プロデュース：ビル・ラズウェル)

1997 平成9年

◆アメリカ、カナダ、日本(123公演)

- 1～3月 北米ツアー(ニューヨーク・カーネギーホール他)
- 3月 「財団法人 鼓童文化財団」設立(理事長：山口幹文)
- 4月 鼓童文化財団研修所、研修2年制開始
- 6月 藤本容子「ヴォイスサークル」開始
- 7月 第1回「北米太鼓カンファレンス」参加「ギャザリング'97 "Rock'n Kodo ～ありとときりぎりす"」開催(共演：仙波清彦他/佐渡、東京)
- 8月 「EC'97」10周年記念開催(ドナル・ラニー、レネゲイズ・スティールドラム・オーケストラ、山下洋輔、レナード衛藤、渡辺香津美、スティーブ・エトウ、山本秀夫、スアール・アグン、ドッド・ニジャエ・ローズ・パーカッション・オーケストラ、アジャ・アディ他)
- 9月 りんげんバンドとのジョイントコンサート出演
- 11月 ビデオ・LD『Rock'n Kodo』発売



EC10周年を記念し、これまでのゲストの中から、ぜひもう一度出演いただきたいというグループを招いた。開場前に出演者、コンサートスタッフ揃って舞台上で記念撮影(8月18～24日/出演：ドッド・ニジャエ・ローズ・パーカッション・オーケストラ、ドナル・ラニー、スベシャル、スアール・アグン、レネゲイズ・スティールドラム・オーケストラ、アジャ・アディ、EC10周年おめでとうバンド(山下洋輔、渡辺香津美、レナード衛藤ほか))(津田明)

1998 平成10年

◆スイス、フランス、クロアチア、ギリシャ、トルコ、アイルランド、ポルトガル、ドイツ、ベルギー、イギリス、日本(117公演)

- 2月 サントリーホールにて「自遊自在」出演(共演：山下洋輔、林英哲、レナード衛藤)
- 長野オリンピック文化・芸術祭に出演
- 4月 「さど・ぶれぜんつ 鼓童で遊ぼう Part2」開催(共演：中島啓江、小室等他)
- 5月 「EC'98」初の春開催(出演：レッド・ウィロー・ダンサーズ、EPO、マルコス・スザーノ他)
- 6～8月 夏のヨーロッパツアーで、フェスティバルや特別企画公演に参加。(クロアチア、ポルトガル・リスボン、スイス・リヨン他)「エジンバラ・フェスティバル：フリンジ」に佐渡の文弥人形と鼓童小編成で参加



鼓童文化財団による佐渡の文化を紹介する活動の一環として、イギリスで文弥人形の公演を行った。鼓童のスタッフ・前田優子も人形遣いとして参加した(8月15～18日/ロンドン、エジンバラ/出演：猿八座)

1999 平成11年

◆アメリカ、日本(114公演)
交流学校公演(岩手、新潟、山形、大阪 24公演)

- 1月 鼓童ホームページ本格始動
- 2月 新潟テレビ開局15周年記念番組「鼓童～地球を一本のロープでつなぐものたち」全国放映
- CD(リミックス・アルバム)『再創(Sai-so)』発売
- 4月 鼓童村スタジオ、稽古場事務所、倉庫竣工
- 5月 「交流学校公演」開始「さど・ぶれぜんつ しんすけ・鼓童のキッズバラエティ」開催(アミューズメント佐渡)
- 7～8月 第2回「北米太鼓カンファレンス」参加。花結と藤本吉利のワークショップのほか、三宅島の太鼓を紹介
- 8月 「EC'99」開催(出演：フーン・フル・トゥ、ヤドランカ、ミルフォード・グレイヴス、ECシアターゲスト多数)子どもを対象とした「ECキッズ」企画を実施
- 11月 CD『鼓(tsutsumi)』、『童(warabe)』発売
- 12月 「鼓童十二月公演」開催(新宿・シアターアプルでの公演はこの年が最後となる)

東海村で国内初の臨界事故発生。「だんご3兄弟」が大ヒット。(株)浅野太鼓楽器店が研究機関として「財団法人浅野太鼓文化研究所」を設立。コンボ紛争でNATO軍がユーゴを空爆。(佐渡)トキの赤ちゃん優優(ユウユウ)が誕生。



15年続けてきたシアターアプルでの公演がこの年で一区切りを迎えた。鼓童を育ててくれた劇場の最終公演に、メンバーもお客様も様々な思いが交錯した(12月14日～23日/新宿・シアターアプル)(坂口正光)



九月二〇日、キューバの首都ハバナの旧市街で野外公演。写真家の橋口謙二氏のプロデュースにより、特別編成でキューバとドミニカ共和国の日本人、皆さんを訪ねた(九月十七日～十月三日/計六回公演)(赤嶺隆)

岡本太郎逝去(84歳)。アトランタオリンピック開催。在ペルー日本大使公邸人質事件。



11月26日、十年來の鼓童北米公演のオーガナイザー、デニス・レツラー氏が永眠。「小さな劇場で公演を行っていた無名の私達を、ここまでしてくれたのはデニスの力によるものです。このツアーをデニスの魂に捧げたいと思います。」(月刊鼓童'96年12月号より)(写真は95年の北米ツアー)(狩野泰一)



初めに行った韓国公演。ソウルでは大田(テジョン)市立舞踊団とのジョイント公演。中央の女性は、韓国公演実現に尽力して下さった舞踊団のリーダー、チェ・ヒャンソン氏(太田順一)



永六輔さんプロデュース企画「佐渡あたりでバチあたり」で福尾野歩さん(左写真)と共演した翌日、研修所での勉強会を開催。研修所では、永六輔さん、本間雅彦先生、島崎信が再会。佐渡の國鬼太鼓座誕生に関わったいわば生みの親である三者が顔を合わせた歴史的な瞬間(吉田陽)

雪印乳業の「集団食中毒事件」、三菱自動車工業の「クレーム情報隠蔽事件」など、大企業の不祥事が相次ぐ。「ハリリー・ポッター」シリーズが世界的大ヒット。シドニーオリンピック開催。高橋尚子が日本人女子陸上選手として初の金メダルを獲得。女子柔道の田村亮子がオリンピックで初優勝。三宅島噴火で全島民が避難。



三宅島火山噴火により島外避難を余儀なくされた住民の皆さん 1,600 世帯へ三宅島募金で佐渡米を贈呈した

「能楽」が世界無形文化遺産に指定される。イチローが日本人初の野手として大リーグに挑戦。首位打者と盗塁王の2冠の活躍で、史上2人目の MVP と新人賞の同時受賞を果たす。アメリカで同時多発テロ。国内初の「狂牛病」発生。

2001 平成13年

◆アメリカ、イギリス、ドイツ、オーストリア、ドイツ、フィンランド、エストニア、日本(107公演)
交流学校公演(新潟、長野 32公演)

- 3月 三宅島募金を活用して、三宅島から避難している島民の皆さんに佐渡産のお米を贈呈
- 4月 田耕氏逝去
韓国国立舞踊団・林在淳(パク・チェスン)氏を招聘し、交流学校公演で日韓交流
- 5月 「神戸21世紀・海警祭」出演(出演:林英哲、和太鼓松村組、TaikOz)
- 6~7月 第3回「北米太鼓カンファレンス」参加。金子竜太郎ワークショップのほか、八丈島の太鼓を紹介
- 8月 「EC 2001」開催(出演:ザキール・フセイン・タル・アンサンブル他)
- 9月 「Aguri」結成(金子竜太郎、EPO、嵯峨治彦)
- 10月 CD『Mondo Head(モンド・ヘッド)』発売(プロデューサー:ミッキー・ハート、ゲスト:アイアート・モレイラ、ザキール・フセイン他)
冬にヨーロッパツアーを実施
- 12月 「ノーベル平和賞コンサート」(100周年記念)に日本人アーティストとして出演(出演:ポール・マッカートニー、A-ha、ユッサー・ンドゥール、ダニエラ・メルクーリ、ワイクリフ・ジーン他)



ノーベル平和賞コンサート(100周年記念)に日本人として初出演。平和への祈りに満ちたこのコンサートへの出演は「ワン・アース(ひとつの地球)」をテーマに世界を旅してきた鼓童にとって意義深いものだった。ポール・マッカートニー、A-ha、ユッサー・ンドゥールなどが出演、鼓童は「大太鼓」と「族」を演奏、全世界に向けて放送された

2000 平成12年

◆アメリカ、カナダ、韓国、中国、イギリス、オランダ、ベルギー、ドイツ、スイス、イタリア、日本(120公演)
交流学校公演(新潟、宮城、岩手、群馬 43公演)

- 3月 「太鼓交歓」開催(講師:見沼知弘)
初の韓国公演。大田(テジョン)市立舞踊団と共演
- 5月 16年ぶりの中国公演
- 7月 鼓童村にて「佐渡あたりでバチあたり」開催(出演:永六輔・福尾野歩)
- 8月 「EC 2000」開催(出演:渡辺香津美とザ・ドラムスコ(村上ポンタ秀一、神保彰、菅沼孝三、櫻井哲夫)、ジャッキー・ミカエリ、金徳洙サムルリ他)
- 9月 国立劇場「日本の太鼓」に出演(出演:金徳洙サムルリ、三宅島神着木造り太鼓、弓ヶ浜の祭り太鼓、八丈太鼓)
- 10月 ポストシンフォニーホール100周年記念コンサートに出演
- 11月 CD『TATAKU - Best of KODOII』発売
- 11~12月「KODO 01(ゼロワン)」開催(東京、宮城、新潟、滋賀、佐渡)



KODO 01(鼓童ゼロワン)公演。舞台の目玉は「セッション福袋」と題した日替りのインプロビゼーション(即興演奏)。毎回何が起るかわからないスリリングな舞台(井出慎見)



中国映画史上最大のスケールで収録された中国映画「HERO」(音楽:タン・ドゥン)のサウンドトラックに参加。レコーディングでは、タン・ドゥン氏が鼓童村を訪れ、太鼓遊びや太鼓の奏法など様々なアイデアで音づくりを行った(SHIGGY)

2002 平成14年

◆アメリカ、日本(119公演)
交流学校公演(新潟、岩手 17公演)

- 3月北米に鼓童アーツ・スフィア・アメリカ(KASA)設立
- 4月 「2002 FIFA World Cup™ Korea/Japan 公式アンセム」発売
- 5月 「EC 2002」開催(出演:ヴォゼス・ダ・ベルクサン(アイアート・モレイラ、ジョヴァニ・イダルゴ、フローラ・プリム、メア・ノイチ)他)
中国映画「HERO」(音楽:タン・ドゥン、2003年夏日本公開)サウンドトラックに参加
- 6月 2002 FIFA World Cup™ Korea/Japan ファーストマッチ前文化イベント、オフショールコンサート、決勝戦前夜祭に出演
- 7月 アジャ・アディ逝去
- 11月 島崎信の武蔵野美術大学教授退任記念として、同大学美術資料図書館で演奏
9年ぶりの沖縄ツアー
「かつれん伝統芸能フェスティバル」出演
- 12月 「鼓童日替小劇場」開催(東京・世田谷区・シアタートラム)(共演:小室等、岩下徹、杉吉真、OKI、渡辺亮)

「ユーロ」の現金流通開始。学校教育に和楽器が導入される。東京新聞と浅野太鼓文化研究所の共催による「第1回東京国際和太鼓コンテスト」開催。サッカーワールドカップ日韓共同開催。デンマークで「生動太鼓」創立。(佐渡)北朝鮮から曽我ひとみさんを含む拉致被害者5人が帰国。



武蔵野美術大学を退任する島崎信(現・鼓童文化財団理事長)の記念行事「島崎信展」でお祝いのミニコンサート。会場となった武蔵野美術大学美術資料図書館に集まった観客は美大生を含め200名以上



日本と韓国で共同開催された「2002 FIFA World Cup™ KOREA/JAPAN」では公式アンセム(シンボル曲)を演奏(韓国からは金徳洙サムルリ)。歴史的な日本初戦を飾るイベントや FIFA 公式コンサート、決勝前夜祭などに出演、大会ムードを盛り上げた(写真は新潟「ビッグスワン」での初戦イベント)(後藤美奈子)



「遠くへ行きたい」という番組のロケで来島した永六輔さんが佐渡の各地をまわった後、宿根木公会堂で投げ銭公演を行った。鼓童からは藤本吉利、小島千絵子、山口幹文が出演。開演前の寄せ太鼓では、浴衣姿でお客様の来場を待つ永六輔さんの姿も(菅野敦司)

新型肺炎「SARS」が猛威を振るう。歌舞伎発祥400年。指定管理者制度施行。(佐渡)無名異焼の5代目伊藤赤水氏が人間国宝に認定される。(佐渡)佐渡トキ保護センターで飼育中のキン(雄)が死亡し、日本産最後の野生トキが絶滅。

2003 平成15年

◆アメリカ、日本(110公演)
交流学校公演(徳島、高知、愛媛、香川、広島、岡山、兵庫、新潟 34公演)

- 鼓童文化財団による地域循環型家具「アースファニチャー」本格稼働
- 5月 「さど・ぶれぜんつ まるごと鼓童@ミュージアム佐渡」開催
- 7月 IMAX映画「ストンプ・オデッセイーズ」は世界を巡る」に出演
CD「HERO」オリジナルサウンドトラック発売(音楽:タン・ドゥン/演奏:イヴァーク・バルマン(ヴァイオリン)、鼓童、中国フィルハーモニックオーケストラ&合唱団)
- 8月 第4回「北米太鼓カンファレンス」参加。レクチャー「鼓童の演目のふるさと」(講師:千田倫子)を行なう
「EC 2003」開催(出演:クリバリー・ファミリー他)
鼓童文化財団より鼓童叢書「佐渡のたらい舟～職人の技法」発刊
- 11~12月 坂東玉三郎演出「鼓童ワン・アース・ツアー スペシャル」開催(東京、名古屋、大阪、新潟、佐渡)



日頃お世話になっている佐渡の方々へ鼓童の色んな活動をもっと紹介したいという思いを込めて「まるごと鼓童@ミュージアム佐渡」を佐渡で開催したトーク入りコンサート。ワークショップ、展示企画などで鼓童をまるごと体験していただいた。(西田大輝)



日本ブラジル交流年として、アース・セレブレーション2008へブラジルからオロドゥンを迎え、城山コンサートで共演。また、日系移民100周年記念南米ツアーでオロドゥンと再会 (Melanie Taylor)

中国・四川省で大地震。
岩手・宮城内陸地震。
北京オリンピック開催。
日本ブラジル交流年。サンパウロで1,000人による和太鼓演奏が行われる。
リーマンショック。
日本人4人がノーベル賞を受賞。
新宿コマ劇場、シアターアプル閉館。
(佐渡) トキの野生復帰をめざし、試験放鳥開始。

2008 平成20年

- ◆イギリス、アイルランド、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、オランダ、スイス、日本 (83公演)
交流学校公演 (新潟、岩手、栃木、愛知、静岡、東京、千葉、大阪、京都、埼玉 90公演)

- ECが「第12回ふるさとイベント大賞」にて大賞(総務大臣表彰)を受賞
- 1月 女性メンバーによるユニット「cocon (ここん)」結成
 - 3月 BLOFとのコラボレーション「BLOF en KODO」に出演 (オランダ・アムステルダム)
 - 4月 鼓童オフィシャルサイト、リニューアル
 - 6月 藤本容子のソロ・アルバム「morisa komorisa」、音大工レーベルより発売
 - 8月 「EC 2008」開催 (出演: オロドゥン他)
 - 10~11月 日系移民100周年記念南米ツアー (ブラジル、アルゼンチン) 実施
 - 12月 「鼓童十二月公演」開催 (佐渡、新潟、大阪、名古屋、浜松、東京)
「鼓童十二月公演スペシャル 鼓童+新日本フィル」にて、「モノプリズム」を15年ぶりに再演 (プログラムは他にタン・ドゥン作曲 映画音楽「HERO」、富田勲作・編曲「宇宙の歌」など) 共演: 新日本フィルハーモニー交響楽団、指揮: 下野竜也 (東京・すみだトリフォニーホール)



新日本フィルハーモニー交響楽団と「モノプリズム」を15年ぶりに再演 (西田太郎)



オーストラリアの太鼓グループ「TalkOz」と共演 (Karen Steains)



砂畑好江が世界的なコンテンポラリーダンサー、アクラム・カーン作品「Gnosis」にソロ出演。世界ツアーに参加し、ヨーロッパの舞台芸術関係者から高い評価を受けた。(Laurent Ziegler)

新型インフルエンザ流行。
「裁判員裁判」開始。
政権交代。民主党が第一党となる。
浅野太鼓が創業400周年を迎える。

2009 平成21年

- ◆カナダ、アメリカ、イタリア、クロアチア、イギリス、ギリシャ、トルコ、ドイツ、フランス、スペイン、ベルギー、スイス、日本 (70公演)
交流学校公演 (長野、山梨、新潟、山形、和歌山、奈良、岡山、神奈川、埼玉、東京、栃木、長野、群馬 77公演)

- ECが第2回ティファニー財団賞「伝統文化大賞」受賞
- 2月 オーストラリアの太鼓グループ「TalkOz」と共演
 - 5月 イタリアにてイタリア聖チェチーリア音楽院オーケストラと「モノプリズム」で共演。指揮: 下野竜也
 - 8月 「EC 2009」開催 (出演: BLOF 他)
 - 9月 鼓童「うぶすな」公演開催
坂東玉三郎演出「打男 DADAN」公演開催 (東京)
 - 11月 砂畑好江「Gnosis (ノーシス)」に出演
 - 12月 山口幹文のソロ・アルバム「一管風月」、音大工レーベルより発売



鼓童「うぶすな」公演 (西田太郎)



坂東玉三郎演出「打男 DADAN」公演 (田中文太郎)



パリ・オペラ座「Kaguyahime (輝夜姫)」公演 (Christophe Pelé / Opéra national de Paris)

ハイチで大地震。死者は20万人を超え、政府により正確な人数が把握できない状態が続く。
上海国際博覧会開催。
歌舞伎座が建て替えのため一時閉館となる。
観測史上最高の猛暑。熱中症が多発。
羽田空港新国際ターミナル誕生。
(佐渡) 佐渡が世界文化遺産暫定リストに追加掲載決定。
本間雅彦氏逝去 (92歳)。

2010 平成22年

- ◆オランダ、フィンランド、デンマーク、ドイツ、イギリス、アイルランド、ロシア、イスラエル、スイス、オーストリア、日本 (63公演)
交流学校公演 (新潟、長野、徳島、愛知、三重、京都、神奈川、東京、栃木 44公演)

- 3月 鼓童「うぶすな」公演
- 3~7月 砂畑好江「Gnosis (ノーシス)」に出演
- 4~12月 吉井盛悟「Babel (バベル)」に出演
- 5月 DVD「打男 DADAN」発売
- 6~7月 パリ・オペラ座「Kaguyahime 輝夜姫」公演
- 7月 「打男 DADAN」再演
- 8月 「EC 2010」開催 (出演: アフィレッタ他)
- 9月 ヨーロッパフェスティバル・ツアー開催
コルシカ島にてアフィレッタ主催のフェスティバル「Rencontres de Chants Polyphoniques de Calvi」にてアフィレッタと共演
- 12月 「藤本吉利の還暦を祝う会」開催 (文京シビックホール)



佐渡の國鬼太鼓座から鼓童創設を経て、以来「鼓童」のシンボルの存在として長年活躍を続ける大太鼓奏者・藤本吉利が12月30日で還暦を迎え、「藤本吉利の還暦を祝う会」を開催 (西田太郎)



ロサンゼルスで鼓童結成30周年レセプションを開催。40年の歴史を持つ「キンナラ太鼓」をはじめ、南カリフォルニアで活動する太鼓グループのうち約20団体から約250名が集まった

ニュージーランド地震。
東日本大震災。
FIFA女子ワールドカップで日本代表(なでしこジャパン)が優勝。
情報誌「ぴあ」が休刊。
(佐渡) 深浦小学校閉校。

2011 平成23年

- ◆アメリカ、カナダ、日本 (ワン・アース・ツアー2011~結成30周年スペシャル)
交流学校公演 (新潟、埼玉、岩手、岡山、愛媛、神奈川、栃木) 予定

- 1月 鼓童30周年スペシャルアルバム「暁」リリース
月刊「鼓童」300号達成
- 2月 ロサンゼルスで結成30周年レセプション開催
文京シビックホール10周年記念公演にて岩代太郎作曲「交響組曲『摩天楼』」初演 (共演: 東京フィルハーモニー交響楽団、指揮: 下野竜也)
岡本太郎生誕100年「TARO100祭」に参加
- 3月 ニューヨークで結成30周年レセプション開催
- 4月 東日本大震災の復興支援活動として「ハートビート・プロジェクト」を始動



岡本太郎生誕100年「TARO100祭」に出演。2,000人近いお客様が見守る中で、岡本太郎に捧げる本邦初演「焔の火 (ほのか)」、三宅、巴、木遣り、屋台囃子の5曲を演奏 (提供/岡本太郎記念館)